

強い全身症状とヘルペスを経て色素沈着と激しいかゆみが軽減した成人アトピーの経過 (72 歳 成人)

症例 ID：001-70-NS | 記録日：2015 年 12 月 27 日

1. 診断・治療前経過

50 歳を過ぎた頃から汗や繊維でかぶれ、下着跡に膨疹が出るようになりました。市販薬や複数の皮膚科で保湿剤、タオリン、セレスタミンなどを使用しましたが、症状は悪化しました。松本医院受診時には広範囲の湿疹と強いかゆみが続いていました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	市販外用薬、保湿剤、タオリン、セレスタミンなどを使用しました。
製品名	タオリン、セレスタミン。外用薬名は不明です。
強度	セレスタミンの使用歴があります。
使用期間	受診前まで断続的に使用しました。
中止時期	松本医院での治療開始時です。
来院前／後	来院前に使用歴があります。来院後は使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
治療開始後	リバウンド	一睡もできないほどの強いかゆみが続きました。
症状の強い朝	腫脹	顔と足が強く腫れる状態を約 3 回経験しました。
開始 25 日目	ヘルペス	右胸にヘルペスが出て治療を受けました。
開始約 1 か月	変化	わずかに眠れる日が出始めました。
その後	症状の波	強弱のリバウンドを繰り返しました。
翌年お盆頃	大きな軽減	激しいかゆみが大きく軽減しました。
記録時点	経過中	弱い湿疹は残るものの、色素沈着は目立たなくなりました。

4. ピーク時期

ピークは、治療開始後に一睡もできない強いかゆみが続き、顔と足の著しい腫れを繰り返した時期です。

5. 困りごと

- 夜通し掻き続け、朝方ようやく眠る生活が続きました。
- 静脈瘤のある足が著しく腫れ、外見上の変化も強く出ました。
- 広範囲の湿潤部へ綿とラップを用いた処置を続けました。

6. 経過のまとめ

治療開始約 1 か月後から少しずつ眠れるようになり、翌年のお盆頃には激しいかゆみが大きく軽減しました。記録時点では弱い湿疹が残るものの、色素沈着は目立たなくなっていました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。